

中丹地域振興計画（中間案）の概要

※主な改正内容を抜粋しています。

1 地域の将来像（20年後に実現したい姿）

～心つながる田舎の魅力と都市機能の両方を享受し、

海・里山・まちを舞台に求める暮らしが実現できる地域～

- コロナ禍によるテレワークや地方移住の広がりなどを踏まえ、「田舎暮らし」「まちなか暮らし」「二拠点居住」など、この地域の強みをさらに生かして、一人ひとりの事情と希望に応じた多様なライフスタイルが実現できる地域
- 農林水産業から製造業、サービス業まで様々な産業が活発に行われ、働き方も自営から就業まで幅広い選択ができる地域
- コロナ禍で再認識された家族や社会との繋がりの重要性を踏まえ、Uターン等により若者がしっかりと地域に定着し、子どもから高齢者まで住民が生き生きと暮らす、人にやさしい持続可能な地域

2 施策の基本方向

(1) 若者が定着する持続可能な地域づくり

- Uターン促進、人権尊重、子育て環境充実などの環境整備
- 地域産業の振興と雇用の促進、人材育成

▽ Uターンを中心とした移住施策

- ・あらゆる世代に「地域の良さ」を認識してもらい、地元企業とも連携してUターンを促進し、人材確保にもつなげる一貫した移住施策の推進
- ・中丹情報まとめサイト「CO-KYOTO」等による地域内外への情報発信推進と、出身者や転勤、長期出張など地域ゆかりの方の移住や、二拠点居住等関係人口への誘導促進

▽ 「中丹子育て未来づくり100人会議」を核とした安心して子どもを産み育てることのできる環境整備

- ・子育てにやさしい風土づくり推進のため、「WEラブ赤ちゃんプロジェクト」や、きょうと子育て応援パスポートアプリ「まもっぷ」の普及を促進
- ・地域の様々な団体の強みやネットワークを活かした取組の推進
- ・子育て世帯向け啓発や管内企業の先進的取組PR等、地域独自の取組推進

▽ 地域医療・介護・福祉の拡充など

- ・地元医師会をはじめ介護・福祉の関係団体等とのネットワークを強化し、誰もが安心して医療や福祉サービスが受けられる体制の確保
- ・感染症等の正確な知識の普及や偏見・差別等の防止、青少年のインターネット被害防止

▽ 働く場の創出と人材確保・育成

- ・北部産業創造センターと連携した企業間連携や高等教育機関との共同研究を通じた新産業の創出と新たな販路開拓
- ・福知山公立大学等高等教育機関や支援機関等と連携したデジタル人材育成を通じた中小企業・小規模事業者のDX推進への支援
- ・京都舞鶴港を核とした北部地域における物流拠点の形成

▽ 働き方の多様化等を踏まえた、誰もがいきいきと働ける環境づくり

- ・福知山公立大学等高等教育機関等や生涯現役クリエイティブセンターと連携したあらゆる世代がキャリアアップし、活躍する環境づくりへの支援

▽ マーケットニーズに対応した「儲かる農林水産業」推進

- ・新規就農者への人材育成（万とうゼミ）やスマート農業普及等による万願寺甘とうの更なる生産拡大等、地域の特産物の生産技術・品質向上の推進
- ・主伐から再造林までの一貫作業やICTを活用した川上から川下までの新たなサプライチェーン構築による安定した地元産木材供給の推進
- ・農林水産技術センターや食関連企業と連携した新技術研究等による農作物の付加価値向上と販売戦略への支援

(2) 絆と交流の地域づくり

○ インフラと地域資源を活かした観光交流拡大や関係人口創出を推進

▽ 交流拡大と関係人口創出

- ・大河ドラマなどの取組を通じて構築したメディアネットワークを活用、DMO等と連携し、地域の食や地域文化、観光コンテンツなどの情報を広域的に発信
- ・DMO等と連携し、コロナ禍での健康志向の高まりを捉えたトレッキング・カヌー等アクティビティの充実やe-bike等を活用した周遊観光の促進
- ・地域の食や農泊、農家体験等、地域資源を生かした交流・地域ファン拡大

▽ 京都舞鶴港、交通ネットワーク整備

- ・舞鶴国際ふ頭における第2バースの整備とII期整備等による京都舞鶴港の機能強化、前島ふ頭のフェリーターミナルの再整備
- ・京都舞鶴港における水素の利活用等、エネルギー拠点整備の促進
- ・人流・物流や地域の生活を支える道路整備の推進、公共交通の利便性向上

(3) 安心・安全に暮らせる地域づくり

○ 自然災害や新興感染症等からの安心・安全な暮らしの確保

▽ 災害に強い社会基盤整備

- ・流域治水プロジェクト充実と住民の防災意識向上による地域防災力強化
- ・内水被害の軽減を図るため、国・府・市が連携して由良川等の河道掘削や排水ポンプ場等の施設整備による対策を推進

▽ 災害対応力の強化

- ・5市2町協議会(京都府北部地域連携都市圏形成推進協議会)と連携した広域避難の仕組み構築
- ・中丹自然災害情報連絡ネットワーク拡大と情報共有による初動強化

▽ 安心して暮らせる環境整備等

- ・新興感染症等発生時にも対応できる体制を整えるため、感染症患者等を受け入れるために医療機関が行う研修や介護施設における感染症対策の取組を支援
- ・企業ボランティアによる高齢者の見守り活動の充実
- ・万一来襲した原子力防災対策の充実

3 広域連携プロジェクト（エリア版）

○ 京都府北部地域連携都市圏広域連携プロジェクト